



# 12月 定例会

会期10日間

あ  
ら  
ま  
し

十二月定例会は十一日から二十日(十日間)までの会  
期で開催された。  
補正予算3件、条例改正3件、決算1件、請願2件、  
陳情2件、意見書4件(1件否決)、人事案件など審査  
を行い原案可決(認定・採決・同意)した。一般質問は  
二日間にわたって行われ、八議員が町政一般問題につい  
て、町長の所信をただした。

## 道路整備など一億四千八十万円を追加

### 一般会計 六十一億八千七百八十九万円に

#### 議決した主な議案

※昭和六十一年度一般会計補正予  
算(第五号)  
今回の補正は内需拡大に伴う  
補助事業の増と人事院勧告によ  
る職員給与改定費ほか除雪費が  
主なるもの。歳出財源は町税六  
千九十五万円、国県支出金三千  
四百二十七万円、繰越金四千三  
百三十九万四千円、分担金及び  
負担金、財産収入、寄付金で八  
百四十八万六千円を増額し、諸  
収入、町債で六百三十万円の減  
額を行い補正予算総額で一億四  
千八十万円を追加し、予算総額  
を六十一億八千七百八十九万円  
とした。

- 支出の主なもの
- 人勸実施に伴う費用 三千五百三千元
  - 農免農道整備事業 三千八百二十二万四千円
  - 柴垣邑町線改良事業 四千四百九十万円
  - 農村基盤総合整備事業 二千四百五十九万七千円
  - 民間除雪機械借上料 二十万
- ※昭和六十一年度入善町国民健康  
保険特別会計補正予算(第2号)  
人事院勧告の実施にあたり、  
既定予算額を見直した結果、不  
用額を一千万円減額し、財政調

整基金繰越金に積立てすること  
にした。  
※昭和六十一年度入善町簡易水道  
特別会計補正予算(第2号)  
国営かんばい事業に絡み国の  
補償料(九十万円)を以って配  
水管の移設工事をする。  
※入善町議会議員の報酬、費用弁  
償及び期末手当に関する条例の  
一部改正について  
昭和五十九年四月から据置きか  
れていた議員報酬について、特  
別報酬等審議会の答申を受け  
当局よりの引き上げ案に賛成し  
た。  
議長「二十三万五千円」を  
「二十五万五千円」に  
(八・五割アップ)

副議長「二十万五千円」を  
「二十二万四千」に  
(七・三割アップ)  
議員「十八万五千円」を  
「二十万円」に  
(八・一割アップ)  
昭和六十一年十月一日から通  
用することとした。  
※入善町長等の給料その他の給与  
及び旅費支給条例の一部改正に  
ついて  
職員の人勸に伴う給与改定、  
あるいは県下特別職の報酬実態  
を考慮し引き上げた。  
町長「六十万円」を  
「六十三万円」に  
(五・〇割アップ)

助役「四十七万五千円」を  
「五十万円」に  
(五・三割アップ)  
収入役「四十三万円」を  
「四十五万円」に  
(四・七割アップ)  
教育長「四十三万円」を  
「四十五万円」に  
(四・七割アップ)  
昭和六十一年十月一日から通  
用することとした。  
※入善町の職員の給与に関する条  
例の一部改正について  
国家公務員の給与改定に準じ、  
職員の給与を平均引き上げ率一・  
一三割(四千七百七十三円)と  
した。

#### 採択された請願・陳情

- ◆町道東狐・柴垣線の拡幅整備に  
関する請願(宮坪・柴垣)
- ◆無線放送事業導入に伴う助成方  
請願(栢山地区)
- ◆体育館建設に関する陳情(入善  
町福寿会連合会)
- ◆昭和六十二年度町道整備舗装事  
業に関する陳情(野中地区)

#### 人事

- 入善町選挙管理委員及び補充員の任期満了に伴い、議会の選挙  
で次の諸氏が当選人と決定した。
- 選挙管理委員 (4名)
- 入善町入贈 上田庄平 第1順位 西中 水上孝男
  - 青木 吉澤親敬 第2順位 横山 君島善治
  - 下飯野 塚田正藏 第3順位 吉原 大野八郎
  - 新屋 林 彰 第4順位 一宿 永井 浩
- 選挙管理委員補充員 (4名)

# 決算

## 特別委員会

# 財政構造の健全化に

# 努力を！！

委員長 広瀬 義孝

### 審査結果

昭和六十年度入善町歳入歳出決算は、さる九月十九日の九月定例会から十一月二十六日まで六日間に亘って審査し、十二月定例会で賛成多数で認定された。

### 審査の方針

町当局が議会の議決主旨を尊重し、適正に予算執行したか、投資効果はどうか検討し、次年度以降の予算編成と今後の行政執行に反映されるよう意見を付した。



金沢工業大学（図書館）を視察

### 総括意見

昭和六十年度は町民会館をはじめ、飯野小学校、働く婦人の家、産業展示館など大型箱物の建設、あるいは、災害等の情報伝達手段として防災無線の設置で総額百十億円を超す大型予算となった。

国からの、公共事業等の補助率の引き下げなどの厳しい財政下にあつて、地方債への依存、財政調整積立金の取りくずしなどで対処してきたが、地方債残高は五十九年度末より七億三千万円上昇し四十七億八千万円、財政調整積立金残高は前年の十八億四千万円から七億六千万円となった。これからも入善小学校をはじめとする老朽校舎の改善、中央通り線の着手など大きな事業を目前に控え、尚一層の行政改革の推進や既定事業の見直し、新規事業の取り組みなど計画的財政運用を願う。

### 具体的意見

#### (歳入関係)

町の財政力を示す指数は年々上昇しているが、より一層力がつくよう企業誘致等、ありとあらゆる方策を検討し、「活力とうるおいに

満ちた文化の町入善」の建設を目指されたい。

#### (町民税)

歳入の大きなウエイトを占める町民税は法人分の伸びの鈍化に拘らず七・五割増となったことに対し町民の皆様へ感謝する。また徴収率は九十九・五割と県下のトップであることは評価したい。しかし滞納繰越分の徴収率は二十割以下であることに留意し、悪質なものには徴収保全の措置をとられたい。

#### (国県補助金)

財源の三本柱の一つとして重要であるが、その枠及び額は年々厳しさを増している。しかし、町道主要路線の中でも消雪装置の未施工か所もあるので国の雪害地域道路事業として補助獲得に乗り出し住民の克己に対するニーズに応えられたい。

#### (分担金、負担金)

受益者負担の原則に則り、受益と負担のバランスを失してはならない。

#### (使用料、手数料)

特定の行政サービスに要する経費としての観点から、事業に要する経費を賄うに足る額となるよう常に見直し、改定を行われたい。特に町営住宅は収入より支出が多いので検討されたい。

#### (財産収入)

町有財産の管理は適切に行われることは当然であるが、処分にあたっては、慎重に対処されたい。(町債)

昭和六十年度は、町民会館などの建設財源として九億五千九百七十万円と多額の町債によって運用してきた。後年度の返済額が一般財源に占める割合を判断の上、今後の町債計画に当られたい。

#### 歳出関係

#### (負担金補助及び交付金)

法令等、義務的なものを除き全体を見直しされたい。中には、補助を受けている団体の職員の給与関係、旅費、退職金が町を上廻っている団体があり、一考を要する。

#### (施設の維持管理)

維持補修費のみで一億円以上毎年要している。施設の管理に当っては、常に点検を行い長期間その機能を保持させるよう適切な維持修繕に努められたい。なお、管理運営について民間委託の推進を図り経費を節減されたい。

#### (元費節減)

經常収支比率は前年より増加し七十八・五割と財政の硬直化が進んでいる。経費節減は職員ひとりひとりの心構えが大切であることを周知徹底されたい。

#### (各種審議会等)

四十一組織もあるが、中には一回も開議されていないものもある。数多いわりに成果が表わられているか疑問であり、見直すべきだ。

#### (防災行政無線)

午後五時の時報が主であり、付近民にはやかましくすぎる、一方では聞こえないなどの難点もある。各戸受信の方法について町民の理解を得ながら検討すべきである。

一

# ここが聞きたい!

質

12月

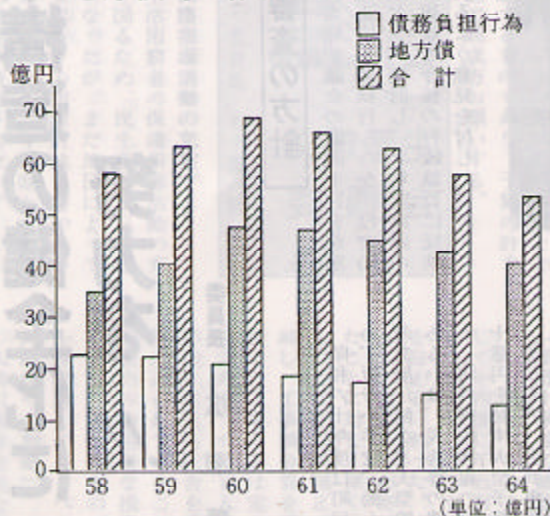
15日・16日

般

## 8議員が町政を問う……

問

### 地方債等残高の現況と推移



年度	S58	S59	S60	S61	S62	S63	S64
債務負担行為	23.05	22.52	21.06	18.84	17.53	15.22	12.94
地方債	35.12	40.72	47.83	47.38	45.21	42.74	40.57
合計	38.17	63.24	68.89	66.22	62.74	57.96	53.51

昭和二十四年シャープ勧告以来の抜本的税制改革が国民の大きな関心となっている。占領下にてきた今日の税制が日本経済の現状に合わなくなり、税制のゆがみ、ひずみを抜本的に是正する時期がきているとの時代的要請、あるいは物価の安定により売上税を導入してもインフレの恐れがない経済状況を背景に、税制を改革すること

自民党代表質問

板川 清治 議員(自民)

### 予算編成に臨む

### 基本はいかに

により安定的な歳入構造を確保することが主眼と思う。現在、国税三税の三十二割を地方交付税として地方自治体に分配しているが、六十三年から導入されるであろう売上税を新たに地方交付税の対象税目に加える方針である。一方、公共事業の補助率の引下げや対象事務事業の廃止、縮小など補助金の徹底的見直しが必要と行なわれようとしている。新総合計画も本

年をもって前半が終了し、来年度より後半に入るが、町政に取り組む基本姿勢と、先程述べた事柄を踏まえ、財政の現状と新年度予算編成の基本姿勢並びに後半の実施計画の概要についてお伺いしたい。

町長 第一点の町政に取り組む基本姿勢は、かねがね申しているように町民参加の開かれた町政を基本に執行に当たっていく。

今年度予算編成に当たり、歳出増に見合う町税、地方交付税、さらに国の補助負担率の引下げなど歳入の伸びが期待できず、しかも義務的経費が年々増高の傾向にあり、編成に大変苦慮した。この六十一年度予算の十一月末現在の執行状況は、収入済額四十億六千八百万円、六十六割、支出済額二十八億七千四百万円、四十六割、そのほか特別会計五会計があるが、おむね予算執行は順調に推移していると思う。今後、予算補正は、国庫補助事業が確定した段階で逐次補正をしていきたい。いま一つは町民ニーズの高い除雪対策費などがあり、本年度予算は、前年度に同じような六十一億五千万円位で終結するものと考えている。

地方債残高及び比率は、六十一年度四十七億三千八百万円、比率十二・二割、六十二年四十五億二千万円、十三・六割、六十三年四十二億七千四百万円、十三・五割、六十四年度四十億五千七百四十四万円、十二・四割と予想しており町の公債比率は昭和六十二年度、

六十三年度がピークとなる。また、債務負担行為の残高においても六十三年度から下降してきている。今後もこの数値の推移に十分注目いたし、さらに健全財政を保持してまいりたい。

次に、税制改革について、若干不透明であるが、税金は国民にとって共同社会を維持するための金費と受けとめているので少しでも軽い負担が望ましい。

税制のあり方については、国民大多数の合意が肝要である。今回の改正で国民各界、各層で論議があるところであり、これらを含めて国会でも論議が展開されるものと思う。税制には直接税と間接税があり、わが国は直接税の比率が非常に高い。したがって、直間の比率を間接税の方にウェイトをかけるということでは、欧米諸国型の税制改革になつたのではないだろうか。

地方自治行政をあくまでも注目しているが、国民も不公平税制にならないよう望んでいると思う。地方への税財源配分は、適正な自主的財源が確保されるよう切望している。

次に、総合計画のローリングは行政を取りまく変化、多様化する住民ニーズに対応し向う三か年の見直しを図った。全体計画のうちようど折り返し地点の年度であるこの間、小学校改築、町民会館建設をはじめ、各分野にわたり大過なく事業を遂行してきた。この前期を踏まえ、今後は、小摺戸保育所改築、ポスト飯野小、生活道路

等の整備、街路中央通り線の問題、農村基盤総合整備、漁業集落環境整備事業等が向う二か年の主たるローリング事業で、これらの事業推進に当たり、財源の確保が一番問題である。これは税制改革の中でいかに地方の税財源確保ができるかがキーポイントになる。

問 昨年十一月、町有地において、富山友愛病院が大量の自噴する温泉を掘りあげた。この温泉利用について町民の関心が高い。議会としても去る九月定例会において、温泉地域開発特別委員会を設置した。当局では、地域交流ホームや共同浴場建設計画のもとに五千万円を予算化したところである。しかし、未だその計画が一步も進んでいない。その理由は何か。また、建物の大きさを七十平米で果たして住民のニーズに対応できるのか、将来根拠を残さないような設備にする必要はないか。町長の考えを問う。

町長 指摘のとおりだが、何分にも温泉の権利を持っておるのが民間業者で、お湯は無料ではなしに有料で、しかも相当多額の金額で宇奈月の温泉と比較にならない。せっかく予算を計上したが建設に取りかかれず苦慮している。今後も粘り強く交渉したい。また、建物が狭いとの問題だが、町民触れ合い温泉の趣旨に合致するのではないかと考える。交流広場も建設するので大いに活用いただきたい。

問 次期水田利用再編対策として、名称を水田農業確立対策と改め、昭和四十六年からの減反政策の歴史中、過去最大規模に拡大する一方、補助金も大幅削減となる。富山県に配分された転作面積は、全水田の二十二％に当たる。また、本町に多く作付されている大麦等の転作奨励金は、これまでの基本額十アール当たり四万二千円が半以下になる。農業を基幹産業として位置づけ、かつ良質米の生産基地としての役割を担う本町においては非常に厳しい状況であり、水田農業の展望と地域ぐるみ営農組織化対策・農業の担い手の育成並びに、水田農業の振興と定着化に対する助成措置についての所見を聞きたい。

農政課長 国が決定した七十七万ヘクタールをベースに置き、富山県は一万四千四百四十ヘクタールの面積配分の通知があった。市町村への配分は一月に入ると思う。面積は百三十五％増の八百二十ヘクタール位と考える。特徴として新しく、もとの他用途米制度が出る。二百二十ヘクタールの減反が増大することにより農家収入が約四億円のマイナスになる。今後こうしたものの不足の面については、関係機関とも相談し、何らかの対応を進めてまいりたい。今後の農業のあり方としては、いかに低コスト農業とするかであり、組織営農が非常に大切と考えている。

次に、担い手であるが、今後の方法として、農地の流動化を積極的に進め、規模拡大によって安定した経営、あるいは魅力ある農業、そして、畜産施設園芸を折りませ

## 入善小学校建設は

### 早期完了すべき

清新クラブ代表質問 竹内 壮 太 議員（清新ク）

問 入善小学校の建設は、約十六億円見込まれ、この財源として国庫補助金三億円、町債二億八千万円、一般財源が十二億円と聞いています。総合計画では、六十三年に三億円で体育館、六十四年に校舍棟に三億三千万円計上してある。これでは完成まで少なくとも五年以上の継続建設事業になる。従来のように三ヶ年で完成するよう決断されたい。

町長 入小建設については調査費を計上し検討中である。建設に当たって五億円程の補助金を期待していたが二億円を割るような状況だ。従って、一般財源の持ち出しが大変多くなるので心配している。方法として、講堂を六十三年に建設してから、二十三年において校舎にとりかかる。あるいは、着工を一年位おくるなども検討している。しかし、財政的なものより教育効果の問題もあり、地元や学

た複合経営という中で優秀な担い手の確保を図りたい。転作作物の助成は、県単でつけるものとの連動の中で対応してまいりたい。



入善小学校

問 中央公民館の跡地を利用しての軽スポーツの場の確保、あるいは健康センターのりハビリ部門の拡

充はどのように対応しているか。早急に出来ないものとするならその代替計画はあるのか。町長 何らかの形で補充するような施設を考えたいと思っているが、今すぐの対応には無理がある。軽スポーツの場の確保は、入中の夜間開放である程度補われていると思うが、入小の建設時には、これを合せて考えて行きたい。

問 昭和六十二年の予算編成に当たり、歳入に大きく影響する経済成長率を何程見込んでいるか。また、政府に於いては、シャウブ税制以来三十六年ぶりの税制改革を計画している。四兆五千億円の増減税論はさておき、不安とす

るは所得税、法人税、酒税の三十二割が配分される地方交付税や住民税の減税が地方自治体にとどのような影響を与えるかである。総合計画で見ているとおりの収入を見込めるのか、税制改革が実施された場合の想定を現時点でどのように考えているか。

町長

国の予算編成が終る段階ではつきりしてきていると思うが、日本の経済成長率は二・二割、あるいは横ばいと報道されており、そのように判断している。

企画財政課長

税をはじめ交付税の見直しは、町段階においては全く不透明である。従って総合計画等は現行財政制度によって見積りしているが、国、県の動向が確定次第、計画の修正も出てくると思う。今後の行政需用に充てるため、不用額あるいは剰余金は努めて基金積み立てをし、財政力の蓄積を図って行きたい。

問

義務的経費が増高していく中で税収の伸びが見込まれないとするならば必然、投資的事業は圧迫する。しかし、町長は町政懇談会などで町民の強い要望、意見も聞いていることだが、都市計画、学校建設、体育施設、道路、消雪事業等のニーズに対し六十二年度予算に当り、どのように取り組んで行くのか。

町長

限られた財源の中における投資

的事業への取り組みについては、従来にまして徹底した経費の節減・合理化への努力と国、県の動向に合わせ事業の選択をしていかねばならない。

問

当初予算の税収は二十二億二千万円であったが、十二月議会で六千九百五十万円の増額補正を提案している。さらに年度末まで増収を見込むことはできるか。

税務課長

今回補正は税収のうち個人町民税、固定資産税の現段階における調定額の全額を計上した。ほかの法人町民税は円高による景気低迷電気料は料金の引き下げという状

## 長期展望に

## 立った農政を

白又正司 議員（自民）

問

近年の農業、農政を取り巻く社会情勢の変化にかんがみ、二十一世紀へ向けてのあり方について、今盛んに国の農政審議会で検討されている。しかし、国が果して中・長期の展望における水田経営のあり方に何年かかるのか、何十年後に明らかにされるのか疑問と不安を抱く。高生産性農業の確立について町の見通しを聞きたい。

町長

日本の農業は、日本単独で存在

況であり、不透明だが伸びは期待できない。

問

人事院は公務員の週休二日制の前段として、四週六休制の試行を実施する必要があると報告しているがどのように対応していくのか。

町長

富山県は、六十二年一月から試行する方針を打ち出している。市町村段階ではまだ具体化されていないが、試行するにしても窓口事務の問題、保育所あるいは学校問題もある。住民のサービス低下、定員をふやさない方法で検討したい。



農政課長

農業経営体系について模索している段階だが、  
一、経営規模的には、最低五割、標準的には十割程度としたい。  
二、高齢化と労働不足対応として人材確保と高齢化が一体となった地域取り組みを図る。  
三、既存施設、機械の有効利用をし、経営コストの低下を図る。  
労働時間は現行の $\frac{1}{2}$ 、生産コストは三十割を目標とし、さらに生産量の増大に努めたい。

問

第三期減反は本県に約二十二割割当てとなっている。これからすると町には八百町歩以上となり果して消化できるのか。もし達成できなかった場合の対応策と指導方針をどのようにしていくのか。

問

新総合計画、実施計画の中にも水田農業確立対策事業として、米穀流通という指導事業がある。しかし、世界各国の企業がもつて貿易不均衡をたてに目をつけて



経過している。五十八年の道路交通現況調査では、入善町内においては十二時間当たりの交通量一万四千四百四十四台、六十年の交通量八千九百三十三台である。具体的には、町として、路線の検討等はしたことはないが、隣接の黒部市との話では、できれば黒部大橋と下黒部橋の間くらいにバイパスが通ればいいのだがという程度の話である。去る十一月十一日のバイパス建設促進同盟会の通常総会の席上、建設省富山工事事務所長からの意向が表明され、十一月二十

## 温泉湧出地の

## 賃貸借は再契約を

二日黒部市役所で一市二町の首長が集まり話合ったが結論はでなかった。町に関する問題は富山工事事務所並びに県の方から特に入善区間については近日中に会議をしたいという申し入れは受けている。

幹線道路網の整備は地域の将来を左右するなど、非常に大きな影響を与えるもので、入善町全体の活性化、特に市街地入善元町の発展の妨げにならないよう慎重に対処したい。

問 温泉湧出地を年額四万円余りで貸し付けることになっているが、期間は無期限であり、料金の更新の明記もない。契約書では、土地に工作物等設置する場合、町の承認を受けることになっているので、工作物設置認可時点で再度契約をすべきでないか。

町長 二、貸し付け地は整地中であるが町は、どのような申請に基づき承認しているか。

一、温泉が湧出したことよって土地の価値は上昇するから、湯量

### 九里 郁子 議員 (共産)

の確保に合わせ、当然、新たな観点に立って協議の対象となる。改定の時期としては、泉源地の経済的効果が発揮する段階と考えている。

二、町の方へは、何も申請はしていない。建物もしくは工作物を新設する場合の範囲に入るか確認を急ぎたい。

問 雪対策は、人づくりと言われるように、町民がどれだけ真剣に取り組むかと同時に、町も雪に関心を持つことが大切だ。

一、雪に強い町づくりのための講演会開催や職員の研修派遣はどの

ようになっているか。

二、総合計画に新しく年間五百万円で集落除雪活動機械整備事業が計画されているが、この事業の内容は。

### 町長

六十二年三月に長岡市の国立雪害研究所へ、舟見・小摺戸両地区の方々と同道し、雪に取り組む体制づくりなど調査してきている。同研究所の所長を招き講演会等も考えていたが、所長の日程の調整がつかず延び延びになっている。

企画財政課長

二、従来、地区に小型除雪機を配置し対応してきたが、一層地域ぐるみ除排雪を推進するということで数戸の集落が小型除雪機を導入した場合、片程度の補助を考えている。具体的にはこれから詰めて行きたい。

### 問

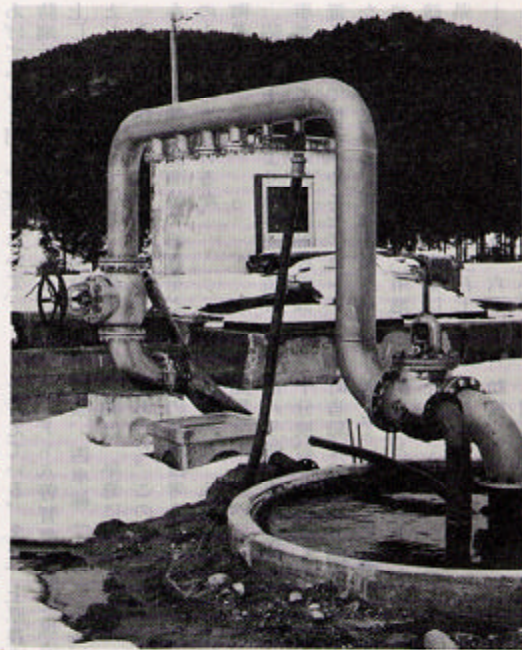
田高影響によって入善町産業にも、年末一時金のダウンや人員整理など大きな影響が出ているが、実態をどのように把握しているか。

対策として、国・県が行う融資

に町が利子補給するとか考えるべきでないか。また、田高の影響は各方面に渡っている中で、町が不燃焼物処理で頼っている廃品業は転産業の危機にさらされている。どのような対策をして行くか。

### 町長

倒産企業がないことを喜んでいますが、影響を受けていることは事実だ。県が行っている田高融資に直接的には、利子補給することは



泉源地の分湯施設

考えていない。県や商工会とも連絡をとりながら倒産等防止を図って行きたい。また、廃品業者が埋立地へ来ないとなると埋立地への影響もでる。新川広域圏での埋立用地確保に努力していかねばならないが、町民の皆さんにもゴミ処理について現状を理解し、協力を頂ければ幸いだ。

### 問

一、入善町の特産物であるチューリップも田高の影響を受け収入が減ってきている。さらに近い将来予想される輸入球根の隔離検疫制度の廃止問題もある。特産物を守るため町としてどのような対策を持っているか。

二、あぜのコンクリート化や機械化で負債が増える一方、転作の面積増・奨励金の大幅減で、農家は大きく痛手をこうむることになる。

農業を基幹産業とする町としては農民の立場にたった農政を推進して行くべきでないか。

農政課長

昨年の四月、オランダの首相が日本を訪問された時、関税等の廃止を強く中曽根首相に要請した。これが廃止されると安い球根が入ってくることになり、いかに安く作るかが課題となる。田高対策とともに町も加入している県の球根産地対策協議会の中でも十分協議し、生産者の指導に努めたい。

三、転作補助金は益々圧縮されてくるものと考えねばならない。対応として集団化によって土地を効率的に利用する、あるいは輪作営農を取り入れて行く必要がある。中核農家等を中心としながら出来るだけ集落の営農組織の確立を図らなければならない。



# 魅力ある都市づくり 何をなすべきか

広瀬喜代志 議員（自民）

問

北陸高速自動車道の朝日インターと新潟上越インターの開通は六、十三年夏ごろの見通しで、これが開通すれば北陸と首都圏が直結することになる。この開通は、様々な影響を与えると考えるが、入善町に与えるデメリット、メリットはどうか。全国各地で高速道路の開通によって繁栄している場所、逆に過剰型の町で経済活動の衰退した所があると聞く。当局は当然調査研究されていると思うが、どうか。

本町の商業力指数は富山県八市十町で十六位である。ちなみに県平均指数を一とするならば、魚津市一・一七、黒部〇・八九、入善〇・七八、朝日〇・八三、宗奈月〇・五九である。本町の指数を県平均の一にするには何をすべきか、魅力ある町づくりのため、キイテナントを中心とした商業圏づくりなどのような考えを持っているか。いろいろ複雑な問題もからんでいると思うが、今こそ町と商工会、農協等が連絡を密にし、英知を結集すべき時である。武村会館を利用し、広くテナントを募集し、中央通り線の着手に合せ周辺の整備

を考えていけばどうか。

町長

高速自動車道開通に伴う影響であるが、交通体系が整備されると商業集積地へ購買客が流れるデメリットがある。新潟県の糸魚川などから野菜や果物、あるいは一部の商品、開業医に国鉄を利用した来町者が多い。こういう人たちがどのような変化を遂げるか注目している。また、富山日本電気を始めとする本町企業の人員確保は、いわゆる黒部、魚津の西の方は困難で、東地域の人を雇用対象となりメリットの面と思う。

大型店による町づくりの提言であるが、武村福祉会館は駐車場の問題などで無理と考える。本町は三万の人口を背景に、商業基盤として安定した形態を保持しておりいわばゆるま湯に浸った形になっているように思う。流出する顧客をどう食い止めるかが大切である。町政懇談会でも問題となり町民の関心も深い。商工会等とも十分協議し、消費者ニーズに 대응することにも地元商店の繁栄もはかる方向を見出し出していきたい。

問

富山県において、二千年国体誘

致に向けて行動を起こしている。昭和六十七年に全国中学総体、六十九年全国高校総体、そして七十五年、すなわち二千年国体の開催スケジュールと聞く。町長は六十二年三月議会の提案理由で、町民一人一スポーツを目標に、生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めると言っておられる。そこで、二千年となる、本年小学校一年生が成人に達する年令である。六十七年全国中学総体時は中学生で、六十九年の全国高校総体時には高校生でもある。町当局はこの二千年国体に対し、競技種目の誘致や指導体制等どのように考えていくか。少年柔道において連続して富山県一となっているが、中学へ行った途端に

姿を消す。これは中学校の指導者の問題か、あるいは、何か事情があるのか。

町長

スポーツ振興の問題として近年健康の維持、増進の側面だけでなく、快速で生きがいのある面からも関心が高まっており生活そのものである。生涯を通じてスポーツに親しむ環境づくりは、新しい行政課題である。二千年国体に向け、体育団体、関係機関、県教委とも連絡を密にし検討して行きたい。実際に競技する場の確保が第一であるが、宿舍・輸送関係等も含め考える必要がある。また、選手の強化策についても一段の創意工夫と指導者の確保に意を用い、あるいはスポーツ少年団との接触を深



中町商店街

め、できれば財政面でも手だてを考えたい。

教育長

少年スポーツ柔道が毎年富山県一として常勝しているが、中学、高校へとつながらないのは残念であり、一貫して育て上げる大切さを痛感する。林道場で養成された少年柔道であり、青年あるいは成人に至るまで指導お願いしたい。各中学校ではそれぞれ得意のスポーツ種目で優秀な成績の実績があるが、教師の指導力によるのが大きいので、二千年国体を目標に、勝てるスポーツにも力を置いて、その方策を検討したい。

問

納税貯蓄組合制度は町税の納税に大きく貢献している反面、その完納税額に対し完納奨励金が出ている。町全体でいくらの金額となるか。あえて問題提起したのは他町から新住宅地に居を構えようとしたが、集落から税金を滞納されると迷惑するとの事で、何件かの新居住者が延期になったと聞く。基本的人権にも関する問題であり、町当局はどのような認識をひいているか。

税務課長

納税貯蓄組合に関してのトラブルの問題であるが、新しく開発された団地に入居される方々にあっても、その地域に同化した地域の人となつて貢献され、ひいては入善町のためご尽力いただきたい。もちろん入居者の皆さんも、こうした気持ちには十分あると考えている。

入居者に対する対応について、区長や納税貯蓄組合に対し、適切な助言と今後とも一層の協力を願っていき。県内の納税貯蓄組合の組

織率は八割位であり、六十一年度の本町の納税奨励補助金は、一般会計一千百万円、特別会計七百万円である。

# 町の施設はぜいたく過ぎるのではないか

早川 誠一 議員(自民)

我が国の経済事情は円高不況等により大変厳しい状況である。町の新総合計画、実施計画をみても義務的経費は年々増大するのに対し、歳入面では、国の補助金カットや町税の落ち込み等で計画どおり期待できるだろうか。やがては財政危機が到来することが予想されることから油断を許さない。当局は経済動向を見極め、安全確認を怠らないよう財政計画に注意が必要ではないか。

このような安易な見方は今後の行政で許される事柄ではないと考えるがどうか。

町長

国の補助金カット等で地方自治体にしわ寄せをきたし、財政面と行政的な面から狭み打ちされピンチになっている。町民から行政に対し質の高い多くの要求があるが、経済成長率の低下に伴い税収の伸びが期待できない現状であり、このような時こそ、最少経費で最大の効果を上げ元費を削減し、この危機を乗り越えたい。

町の補助金の建設単価は高くはないし、建物の構造自体も派手とは思わない。文化性を導入するには、多少金のかかる面もあるが将来町民に喜んで利用、活用できる方向で対処した。

入善小学校建設に関して、現在の校舎は危険校舎と思っていたが、その扱いが見受けられず補助金の見誤りがあったと聞くが、何故そのようなミスが生じたのか。

学校は二十一世紀を展望し施設を考えた。しかし、新築校と在来校との格差を是正すべく在来校の設備、営繕に留意している。

青年会館建設の要望については旧上原小学校の跡地を考えると答弁されている。これは財政見直しから外れていないか。

入善小学校は危険建物としての

補助対象面積が少なく、不適格建物で認定されれば三分の一補助と考えるが、文部省の基準面積を対象とする補助金となるため、試算によれば二億円程度になるかと考える。

青年会館建設についての要望が強い。旧上原小学校地内に空地があれば将来考えたい。



町民会館

入善小学校は不適格建物としての取り扱いの目処があるか、また入善、横山、柗山小学校、そしてその他の学校についての危険度はどうであるか。

町長

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

我が国を取り巻く諸外国の攻撃は特に激しく、農産物の全面自由化を求め、さまざまな形で農民を圧迫している中で、国は大幅な転作面積の増大と転作奨励金の引き下げ等、農民にダブルパンチを課している。こうした情勢を踏まえて、県では六十二年で転作について県単補助を検討するなど前向きな発言もあるが、町はどの様に

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

また、転作配分について県も苦慮しているようだが、入善町に有利な配分となるよう対応しているか、また、町の配分方法はどのよ

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

現在、麦の作付が終わっている。今後転作面積が増加した場合の様な対応、指導を考えているか。

町長

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

県政課長

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

入善小学校は危険建物の対象部分六六〇平方、その外の部分は不適格建物として申請したい。

うに考えているか。

町長

町政懇談会でも転作等農政問題が多く出ており、あらゆる機会に国や県に要請している。転作補助金の大切さは理解しているが、国や県の補助に上乗せ補助をしており、現段階でさらに上乗せすることは考えていない。

農政課長

県政課の配分要素は十項目に亘っているが、入善町産米の品質が優秀で自主流通米の出荷率が高いということ、どの程度傾斜的に見てくれるかである。そして、町の配分については、関係機関とも十分協議して行きたい。

町長

現在、麦の作付が終わっている。今後転作面積が増加した場合の様な対応、指導を考えているか。

農政課長

盆前に七九〇ヘクタールと見込み面積を算出したが、その後の情勢の変化により三千五百ヘクタール増になると思う。明年度からもちの他用途利用米という制度が新しく出るので、そこで一部対応し、残りは水田地力を高めることから緑肥作物、大豆等で対処したい。

町長

町政懇談会でも転作等農政問題が多く出ており、あらゆる機会に国や県に要請している。転作補助金の大切さは理解しているが、国や県の補助に上乗せ補助をしており、現段階でさらに上乗せすることは考えていない。

農政課長

雪対策と共にザイ水の問題があるが、ある程度河川の水加減によって被害を未然に防止できるのでないか。道路の除雪はもちろんだが、降雪状況で河川の水加減の配慮を願う。

し、状況に応じ各用水に対する水の配分に努力したい。  
建設課長  
県事業では井戸が二十五本(延長十八メートル)町事業十一本(二十二メートル)である。現在要望のある箇所は四箇所となっている。

## 新川むつみ園を

### 増設する必要はないか

本多 幸男 議員(清新)

問

去る十一月二十八日参議院本会議で政府の国鉄改革八法案が可決し、四月一日から貨物会社を含め七つの会社に分割民営化となる。地方自治体として国民の立場で国鉄を真に再建するため発言をする権利がある。分割民営化をどのように受けとめているか。

町長

国鉄は国民の足を守るという意味から、累積赤字だけを一つの問題として分割民営化になることは不安の感情を持たざるを得ない。今後は国民の足を守る立場で運営されることに期待している。

西入善駅の無人化に伴い町が委託事業として行っているが、町補助が六十―七十万円と見るがどのような状況か。

西入善駅の無人化に伴い町が委託事業として行っているが、町補助が六十―七十万円と見るがどのような状況か。

国鉄職員の余剰人員の再就職のあつせんについて県や他の自治体に見られる町職員として受け入れする考えがあるか。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

また、地場産業に紹介、あつせ

社会福祉法人は行政に頼り過ぎ

する用意があるか。

町長

余剰人員対策で県下市町村に対して要請があつた。町も建築関係の技術者で一定の資格と年齢制限をし申し入れたが適任者がいないと回答があつた。今後、機会があれば客観的公正に余剰人員を吸収されるように申し入れをしたい。また、町出身者の国鉄余剰人員の方に対し、町内企業等へ紹介、あつせん等努力したい。

問

西入善駅の無人化に伴い町が委託事業として行っているが、町補助が六十―七十万円と見るがどのような状況か。

西入善駅の無人化に伴い町が委託事業として行っているが、町補助が六十―七十万円と見るがどのような状況か。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

町長

委託業務として四十七年十月二日から今日までサービス低下にならないように西入善駅運営協議会を設立し運営されている。六十年年度の決算では売上手数料七十六万円、町補助金七十万円、支出は人件費等百四十五万円、灯油や電気料等九万円、計百五十四万円余となつており、一日平均七十人ぐらゐの利用客である。

問

新川むつみ園は新川広域圏二市三町により社会福祉法人として設立し、昭和五十六年四月より事業を開始した。入所希望者は待機をしている状況にあるやに聞くが、現在の入所状況内訳と今後の入所希望者の概数を聞きたい。

町長

新川むつみ園は新川広域圏二市三町により社会福祉法人として設立し、昭和五十六年四月より事業を開始した。入所希望者は待機をしている状況にあるやに聞くが、現在の入所状況内訳と今後の入所希望者の概数を聞きたい。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

社会福祉法人は行政に頼り過ぎ

ることなく、地域ぐるみ、関係者ぐるみのボランティアあるいは善意等の形で自助努力が必要ではないか。このようなことから新川むつみ園に後援会を結成し支援の輪を広げようと努力している。また新川むつみ園自体の資金の持ち出しが困難なことから増床は難しいと思う。

五名で計五十三名となっている。六十年十月二十五日に新川広域圏二市三町の精神薄弱者育成会長より増設援助の陳情があり、関係市町の担当課長会議においても増設の必要を認めている。しかし、新川むつみ園より増設に関する提示や相談もないことから県への要請などは行っていないが、県民総合計画の精神薄弱者援護施設整備目標に六十二年から六十五年度の間に当園の二十人増員計画がなされておられ、それに合わせて二市三町で検討すべきである。

問

新川むつみ園の入所状況は取客定員五十名で魚津市七名、黒部市十一名、入善町十二名、朝日町八名、宇奈月町六名、滑川三名、高岡、上市、大山町から一名ずつ入所している。入退所の移動数は毎年一―二名程度。入所希望者は本町十五名、魚津市十四名、黒部市十二名、朝日町七名、宇奈月町

町長

新川むつみ園の入所状況は取客定員五十名で魚津市七名、黒部市十一名、入善町十二名、朝日町八名、宇奈月町六名、滑川三名、高岡、上市、大山町から一名ずつ入所している。入退所の移動数は毎年一―二名程度。入所希望者は本町十五名、魚津市十四名、黒部市十二名、朝日町七名、宇奈月町

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

社会福祉法人は行政に頼り過ぎ



新川むつみ園

問

すずらん教室は無認可の在宅している精神者の教室であるが、今後さらにこのような施設の充実に努力してほしい。

町長

また、町内在住の視力障害者に有料のガイドヘルパー制度を導入する考えはないか。

この駅も四月民営化になるが、西日本旅客鉄道会社に返すのか、又、今金沢までのキップしか取扱っていないが、全国の乗車券も取扱いできかないか。

社会福祉法人は行政に頼り過ぎ

常任委員会・審査のあらまし



務会 総委員

委員長 松沢孝衛

〔歳入見込みを確実〕

今回の一般会計補正予算は人事院勧告に伴う職員の給与改定のほか、国の内需拡大にもなう公共事業の追加と、これからの降雪に對する対応などを行うための歳入総額一億四千八十万円の追加である。歳入を見て感ずることは、前年繰越金の残金を全額予算計上している。

また町税の伸びもあまり期待がもてず保留分も少ない。税制改正問題、あるいは国庫補助金の削減もあり大変厳しくなつてきている。今後の執行に當つて経費節減の努力と歳入見込みを確実に行われたい。歳出については問題はない。

〔議員報酬等の引き上げ〕

町の報酬審議会が議員について昨年引き上げていないことであり、職員の人件院勧告と同様、引き上げるといふ。厳しい町財政であり議員も謙虚に受けとめ、今後の町政発展に努力しなければならぬ。

〔入善町長、特別職の給料引き上げ〕

報酬審議会の答申を得ており、職員とのバランス上、当を得た引き上げである。

〔職員の給与の引き上げ〕

人事院勧告に伴うものであり、尚一層、公務員としての自覚をもたれ厳しい町行政の中で、町の発展のため町長を補佐し、英知を結集されんことを望む。

〔請願への対応〕

無線放送事業の導入に伴う助成申請は、農協等でも全町に渡つて施工したいようであり、行政情報とタイアップした町の防災行政無線が有効に生かされていくことを念願するものであり、予算の許す範囲で助成方お願いする。



文教厚生委員会

委員長 五十里隆章

〔保護指導活動の充実〕

生活困窮者の保護指導活動の充実を図るため、民生委員が三名増員となったが、まだ地区によっては大変多くの相談区域を持つている方もおられる。今後県とも協議の上増員等検討されたい。

〔公衆浴場衛生設備改善に補助〕

日常生活に不可欠な極めて公共性の高いものであり、昨年十二月議会に公衆浴場環境衛生同業組合から申請が出され採択されていた。

〔救急医療体制の充実〕

県下の各医療機関と消防機関をオンラインでネットワーク化し、即座に診療可能な最寄の救急病院が判ることになるシステムに加入されることは大変結構なことである。救急搬送の迅速化が図られて行くことにつながるが、ただ救急車は安易に利用されることのないよう町民の理解も願いたい。

〔飯野小学校の建設費〕

昭和五十九年からの継続事業として十四億二千五百四十五万円をもち、十二月二十三日に竣工式を迎えるに到つた。校下有志の方より、大変多くの寄付が寄せられたことに対し、深く感謝申し上げる。ただ今回の補正で備品費を削減し、工事請負費を追加してあるがその工事内容は定かでないところである。ポスト入善小建設やその他木造老朽校舎を手当てする必要に迫られていることを考える時、一校のみの過剰な投資はさけるべきであり、他校とのバランスなど十分考慮していくべきである。

〔陳情への対応〕

入善町福寿会連合会から出された老人福祉センターに隣接して体育館を建設して欲しいとの陳情については、高齢者人口が増加するなかで高齢者に対する福祉施策は大変重要になっている。スポーツでストレス解消と健康維持を図ることは老人医療の抑制につながる。早急に老人の方の要望が成就されるよう検討方お願いする。



産業建設委員会

委員長 板川清治

〔公共事業の割り当て配分を評価〕

産建所管の九千八百八十一万円は補正の六五・二割を占め、そのうち農免農道整備事業と農村基盤総合整備事業費に約六千万円の追加である。これは国の内需拡大に伴う公共事業の割り当て配分によるところもあるが、評価すべきである。

〔防潮林の用地買入〕

農地を塩害、風害などから守るため、防潮林として整備するための用地買入は当を得たものと評価する。整備計画では東五十里から吉原海岸までとなっているが、計画外地区からの要望もあるやに聞いているので実情把握の上、計画への組み入れも検討されたい。

〔君島桐山寺線新設改良事業〕

今年度で県道北羽入・入善線から国道八号線までの間の用地買入完了計画であったが、建設省と八号線取り付け協議が整わないので次年度で対応することになったことはやむを得ないものと理解している。今、国道八号線は建設省が示した現道拡幅問題で萩川広域圏内は大きく揺れ動いている。隣接市町とも十分連絡をとられ、慎重に対処されんことを要望する。

〔除雪費〕

四年連続の豪雪と報道されていたが、未だ降雪のないことを喜んでいる。雪の降らないことを祈りつつも、この対策には遺憾のないようお願いする。

〔請願・陳情〕

住民の日常生活に直結する道路舗装整備であり、緊急度、優先度を考え要望に応えていかれんことを熱望する。



防潮林(田中地内)

# 議員提出議案



## 極左暴力集団

### 排除に関する意見書

最近における極左暴力集団は、「国鉄線同時多発ゲリラ事件」、「爆発物発射事件」及び大量殺戮を目的とした「圧力釜爆弾」の製造等、一段と凶悪な犯行を重ねており、激しい怒りをおぼえているところである。

このような極左暴力集団による一連の破壊行為は、法と秩序に挑戦し、民主主義を根底から破壊するものであり、断じて許すことはできない。

本町においては、社会秩序と町民生活安全のため、つとに暴力追

放に努めてきたところであるが、

暴力団による暴力はもろろん極左暴力集団に対しても断固たる措置を町民ぐるみで強力に推進してゆく旨を決定し、併せて政府及び関係機関が、強力にして万全な措置を講じられるようこの際、強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

昭和六十一年十二月二十日

富山県入善町議会

## 国民健康保険制度に

### 対する都道府県負担の

#### 導入反対に関する意見書

国は、明年度の予算編成に当たり、国民健康保険制度における都道府県負担の導入を検討されているが、これは医療保険制度の基本にかかわる重大問題であつて、国の財政上の都合で軽々に制度変更をすべきではなく、また国保財政

に地方一般財源を投入することは、他の保険制度とのバランスを欠くこととなり、極めて不適当である。更に都道府県負担が導入され、その額が地方交付税で財源措置されることとなれば、その結果として市町村分の地方交付税が減少す

ることとなり、現在、国保財政収支の極度の悪化により大きく圧迫を受けている市町村財政は、一層の圧迫をこうむることとなる。

このように、国の負担軽減のみを意図する都道府県負担の導入は、国保行政に対する国の責任を単に地方に転嫁するに過ぎないものである。このような措置に対し断固反対するものである。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

昭和六十一年十二月二十日

富山県入善町議会

## 意見書

### 町民生活の安全や地方財政を守るため政府及び関係機関に提出

## 公共事業費の国庫

### 補助負担率引き下げ

#### 措置反対に関する意見書

国は、明年度の予算編成に当たり、公共事業費の国庫補助負担率を更に引き下げることを検討されているが、これは国会審議における政府の答弁及び今後二年間は、

国・地方間の財政関係を基本的に変更するような措置は講じない」とする大蔵・自治両省の覚書を踏みにじるものであり、しかも地方財政の現状を無視して地方公共団

体に財政負担を転嫁するものにはかならない。

このような負担転嫁は、国と地方との間の相互信頼関係を根底からくつがえす重大な措置であり、誠に遺憾にたえない。

よつて、このような措置は絶対にとらないよう強く要望する。

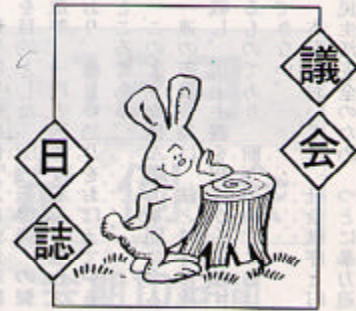
以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出する。

昭和六十一年十二月二十日

富山県入善町議会



25日 除雪対策協議会  
26日 決算特別委員会  
28日 広域農道新川黒部大橋渡橋式並びに竣工式



1日 総務委員会協議会  
2日 広域関係協議会議長会議  
3日 議会運営委員会  
4日 黒部川関係直轄事業中央陳情(東京都)  
7日 青年議会  
11日 議会議員全員協議会  
12日 第9回議会定例会(提案理由説明)  
15日 議会議員トコロ被服株式会社祝賀  
15日 議会運営委員会  
15日 議会定例会(一般質問)



16日 議会定例会(一般質問、質疑、各常任委員会付託)  
17日 総務常任委員会  
17日 文教厚生常任委員会  
18日 産業建設常任委員会  
20日 議会定例会(各委員長報告、質疑、討論、採決)  
23日 飯野小学校落成式  
25日 整備新幹線着工総決起大会(東京都)  
26日 新川広域協議会(魚津市)  
29日 消防年末警戒激励



30日 平曾川沿岸土地改良区新事務所入所式 (魚津市)

5日 執務始め式  
6日 消防出初め式  
8日 新春寿ぐ会  
9日 果町村議長会役員会(富山)  
10日 大漁祈願祭  
13日 新年教育懇談会  
14日 新屋保育所落成式  
15日 成人式  
20日 入善町商工会総会  
25日 故任代議士華儀参列



\*三月議会は十日前後招集されるものと想定しています。限られた財源をどのように活かして行くか大いに論議されるでしょう。町民の皆さまの議会傍聴方お待ちしております。

議会だより編集委員  
大林 政雄 板川 清治  
西尾 三郎 岡島松次郎  
松沢 孝衛 広瀬 義孝  
五十里隆章 竹内 壮太

年度	除雪対策費(千円)
55	71,423
56	34,559
57	23,386
58	57,358
59	82,043
60	88,508
61	子算 52,270 1月末費用 約 3,000

**編集後記**

\*ヨーロッパでは、今世紀最大の寒波というニュースがありました。東京に雪が積もるといふ状況に拘らず、北陸では平年より遙かに少ない降雪量といった異常さ。二十日の大寒はさすがに厳しい寒さでしたが、積雪は数センチといったところ。

町では、今のところ全域除雪は一回もなく経費は大助かりです。